

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
1 年全コース	体育Ⅱ	高橋 人美	
サブタイトル	身体運動の基礎知識と動きづくり	単 位 数	1
授業形態	実技		
開講時期	後期	出席要件	4 / 5 以上
到 達 目 標			
1. 体育Ⅰの学習を基に、身体運動の基礎技能を習得する。 2. 幼稚園合同運動会の体験により実践力を培う。 3. 子どもの前で模範となる運動を習得する。 4. 身体活動を通して、豊かな感性を養う。			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
「保育に関する基礎的な知識や保育技能を修得し、保育の場に応用して発揮できる」、「仲間との学びを通じ、他者の意見や考え方を尊重し、相互の信頼関係を築きながら目的の遂行に向けて協力して取り組むことができる」ことを目指す科目である。 保育者としての実践的指導力の修得を目指す。			
授 業 の 方 法			
1. 体育Ⅰでの学習をふまえ、自己の運動能力を高め、身体運動の基礎技能向上を目指す。 2. 運動会の企画、運営を学び、運動会体験を通して実践力を身につける。 3. 振り返りシートを活用する。			
テキスト・教材・参考図書			
テキスト：『身体表現・創作シリーズ』桐生敬子編著 音楽之友社 2014 年 （2）たのしい体操作品集			
評 価 の 要 点		総合評価割合	
1. 保育者になって活用できるノート 2. 課題レポート 3. 授業内実技試験（個人とグループ評価） 以上のことを総合的に評価する。		小テスト	50%
		レポート	50%
履修上の注意事項や学習上の助言など			
1. 心身の健康管理をする 2. 教科専用のノート（A4ファイル）を用意し、毎時間の授業内容を記録する。 3. 課題レポート（振り返りシート、教科ノート等）は提出期限を厳守する。 4. 体育に関する注意事項を必ず守り受講する。			

科 目 名 体育Ⅱ

授 業 回 数 別 教 育 内 容		身につく資質・能力
1 回	ガイダンス ・授業内容の説明と受講上の注意事項について 身体の可動範囲 ・ラジオ体操を行い、身体の意識やパーソナルスペースを知る	授業内容の理解 安全管理の姿勢 身体の部分意識の理解 正しい姿勢の理解
2 回	基礎技能① ・基本ステップ (ウォーキング、スキップ、ツー・ステップ、ホップ) を習得する	ダンスステップの理解 運動技能の習得
3 回	基礎技能② ・基本ステップ (ポルカ、ギャロップ、バランス 2・3 拍子、ワルツ) を習得する	ダンスステップの理解 運動技能の習得
4 回	幼児の体操「はとぼっぼ体操」＊試験課題 ・幼児の体操のねらいを理解する ・正しいフォームで動きを学ぶ	幼児の体操の理解 体操の習得
5 回	身体表現活動「動物の行進」＊試験課題 ・模倣からモチーフ変化(リズム・高低・方向・移動)発展を学ぶ	豊かな感性 身体表現の多様性
6 回	聖徳学園三田幼稚園合同運動会① ・企画、日程、会場設営について学ぶ	運動会の意義 担当係の役割理解
7 回	聖徳学園三田幼稚園合同運動会② ・運営、内容、方法について学ぶ	運動会内容の理解 担当係の役割理解
8 回	聖徳学園三田幼稚園合同運動会③ ・「たけのこ体操・幼児とのフォークダンス」を習得する	模範となる運動 指導力、実践力
9 回	聖徳学園三田幼稚園合同運動会④ ＊レポート課題 ・開会式、閉会式、競技等、運動会の展開を学ぶ	行事に取り組む姿勢 状況判断力
10 回	舞踊創作活動① ・保育表現研究発表会創作舞踊作品の創作過程を学ぶ 幼児の体操「ハンドカスタの体操・カスタカチカチ」	創作過程の理解 手具の扱い方
11 回	舞踊創作活動② ・舞踊作品のテーマ、役割分担を決める 幼児の体操「なかよし体操」	探究心、責任感 模範となる運動
12 回	舞踊創作活動③ ・作品の中核となるモチーフを出し合う 幼児のフォークダンス作品「ジングルベル・赤鼻のトナカイ」	発言力、表現力 ステップの理解
13 回	舞踊創作活動④ ・モチーフを確立する ・モチーフテスト ＊試験課題	協力性 身体表現力
14 回	まとめ ・保育者としての視点で授業を振り返る ・教科(個人)ノートのまとめと提出	自己評価 課題の明確化
試験	評価の要点に基づき授業内で実施する。	